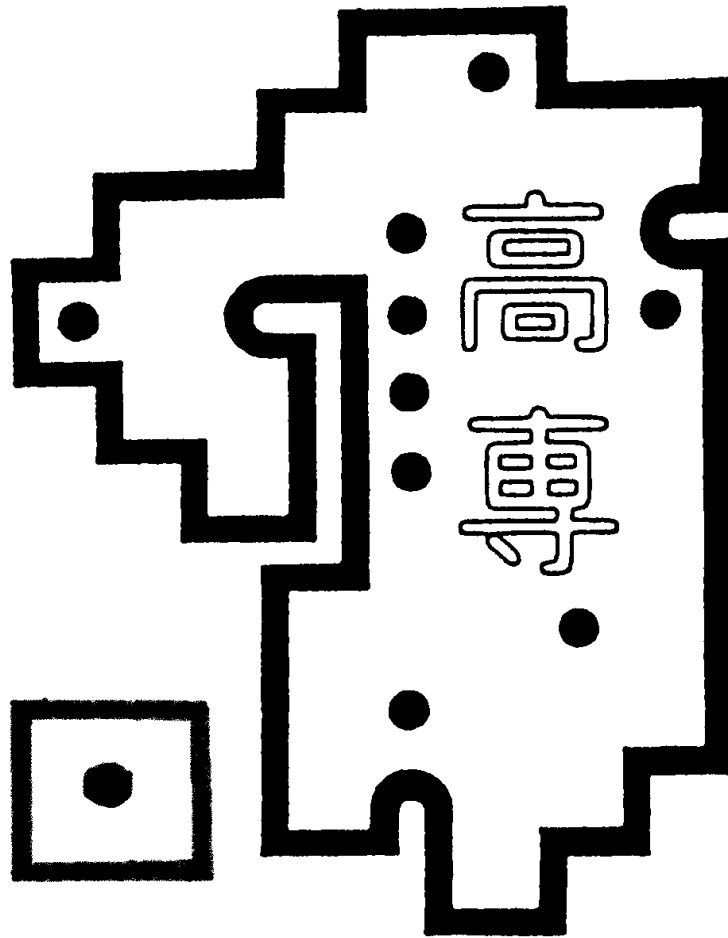


第59回（令和4年度）

九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会

# サッカー競技



令和4年 7月15日(金)・16日(土)・17日(日)

(予備日 7月18日(月・祝))

主催 (主管校) 熊本高等専門学校 (八代キャンパス)  
(担当校) 都城工業高等専門学校  
(担当校) 鹿児島工業高等専門学校  
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟

# 総 合 本 部

熊本高等専門学校八代キャンパス

電 話 0 9 6 5 - 5 3 - 1 2 3 3

F A X 0 9 6 5 - 5 3 - 1 2 3 9

U R L <https://kumamoto-nct.ac.jp>

試合結果のお問合せ等にご利用ください。

## 表紙の図案について

図案は、九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会旗のマークとして、有明工業高等専門学校建築学科名誉教授松島寛治先生によりデザインされたものであり、九州沖縄地区9高専（10キャンパス）の位置を表徴している。

この競技要項に学生の個人情報を掲載するにあたっては、個人情報保護法に基づき、本人の了解を得ております。

# 目 次

大会役員 .....	1
連絡協議会 .....	2
大会日程表 .....	3
第59回（令和4年度）九州沖縄地区高等専門学校体育大会要項 .....	4
参加校（住所・電話番号） .....	7
大会参加者数（会場別） .....	8
競技種目別実施要項 .....	9
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン .....	11
組合せ及び予定時刻 .....	15
競技役員・出場選手名 .....	16
（案内）	
監督会議・開会式日時及び会場、緊急病院 .....	18
九州沖縄地区体育大会優勝校一覧 .....	19

# 大 会 役 員

## 会 長

熊 本 高 等 専 門 学 校 長                      高 松                      洋

## 副 会 長

都 城 工 業 高 等 専 門 学 校 長                      和 田                      清

鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校 長                      氷 室                      昭 三

## 顧 問

久 留 米 工 業 高 等 専 門 学 校 長                      松 村                      晶

有 明 工 業 高 等 専 門 学 校 長                      八 木                      雅 夫

北 九 州 工 業 高 等 専 門 学 校 長                      鶴 見                      智

佐 世 保 工 業 高 等 専 門 学 校 長                      中 島                      寛

大 分 工 業 高 等 専 門 学 校 長                      山 口                      利 幸

沖 縄 工 業 高 等 専 門 学 校 長                      佐 藤                      貴 哉

# 連 絡 協 議 会

	委 員 長				
熊本高等専門学校 (八代キャンパス)	学生主事	村 山	浩 一		
	副 委 員 長				
熊本高等専門学校 (八代キャンパス)	体育教員	四 宮	一 郎		
	事務部長	佐 藤	敏 明		
	学務課長	大 山	俊 博		
	委 員				
久留米工業高等専門学校	学生主事	田 中	大 二		
	体育教員	龍 頭	信 博		
	学生課長	木 山	博 志		
有明工業高等専門学校	学生主事	坪 根	弘 明		
	体育教員	野 口	欣 照		
	学生課長	江 崎	浩		
北九州工業高等専門学校	学生主事	安 部	力 也		
	体育教員	松 崎	拓 圭		
	学生課長	長 濱	圭 一		
佐世保工業高等専門学校	学生主事	堂 平	良 一		
	体育教員	吉 塚	一 典		
	学生課長	宮 良	幸 代		
熊本高等専門学校 (熊本キャンパス)	学生主事	縄 田	俊 則		
	体育教員	岩 田	大 助		
	学生課長	河 津	秀 利		
大分工業高等専門学校	学生主事	靄 庭	浩 二		
	体育教員	大 庭	恵 一		
	学生課長	高 嶋	重 俊		
都城工業高等専門学校	学生主事	永 松	幸 一		
	体育教員	武 田	誠 司		
	学生課長	野 口	修		
鹿児島工業高等専門学校	学生主事	北 藺	裕 一		
	体育教員	堂 園	一 一		
	学生課長	浦 口	健 一		
沖縄工業高等専門学校	学生主事	神 里	志 穂		
	体育教員	和 多	野 子		
	学生課長	藤 元	高 徳		



# 第59回（令和4年度） 九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会要項

- 1 参加校 別紙参照
- 2 主催 (主管校) 熊本高等専門学校（八代キャンパス）  
(担当校) 都城工業高等専門学校  
(担当校) 鹿児島工業高等専門学校  
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
- 3 期間 令和4年 6月30日（木）、7月1日（金）・2日（土）・3日（日）、  
7月9日（土）・10日（日）・11日（月）・12日（火）、  
7月15日（金）・16日（土）・17日（日）、  
7月22日（金）・23日（土）・24日（日）  
令和4年 11月12日（土）・13日（日）・15日（火）
- 4 競技種目・競技会場及び試合開始時刻 競技種目別実施要項参照
- 5 開会式及び閉会式

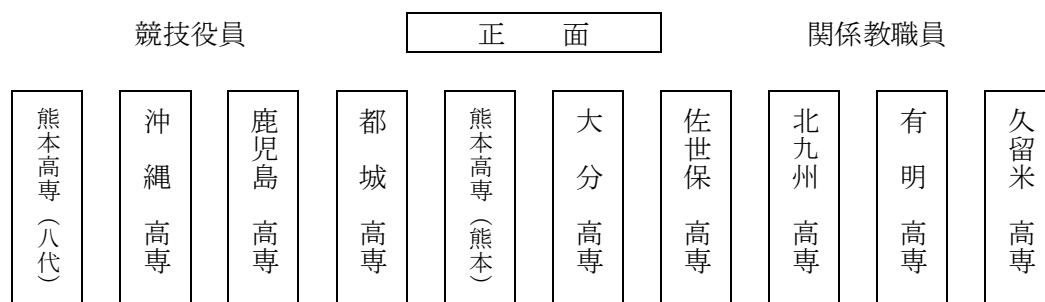
## ア 開会式

- 1 役員選手集合
- 2 開式
- 3 開会宣言
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗掲揚
- 6 優勝杯返還及びレプリカ授与
- 7 大会会長挨拶
- 8 審判長注意
- 9 選手宣誓
- 10 閉式

## イ 閉会式

- 1 役員選手集合
- 2 開式
- 3 成績発表
- 4 表彰
- 5 審判長講評
- 6 大会会長挨拶
- 7 国旗、大会旗降納
- 8 閉会宣言
- 9 閉式

## ウ 開会式及び閉会式配列図



- (注) 1 正面に向かって、右側から構成校順に整列する。  
ただし、担当校は左端に整列する。
- 2 各会場とも開会式は、予定時刻30分前に指定された場所に集合すること。
- 3 選手団の服装は、各高専で定められたものを着用する。
- 4 開会式及び閉会式の式次第は総合的なものを想定しており、各競技の実態に合わせて変更可能とする。

- 6 参加資格 九州沖縄地区国立高等専門学校に在学する学生とする。
- 7 競技方法 競技種目別実施要項による。
- 8 表彰
  - (1) 学校対抗（団体の部）の優勝校に優勝杯を、準優勝校に準優勝杯を授与し、1～3位入賞校に賞状を授与する。
  - (2) 優勝杯及び準優勝杯は、それぞれ持廻りとする。
  - (3) 前回優勝校にレプリカを授与する。
  - (4) 個人対抗（個人の部）の各種目の1～3位入賞者に賞状を授与する。
- 9 選手の変更  
参加申込後の変更は、原則として認めない。  
ただし、やむを得ない選手の変更については、監督会議において承認を得るものとする。
- 10 監督会議  
競技種目別に定められた日時及び場所で行う。  
出席者は、監督及び学生代表を原則とし、詳細は競技ごとに定める。
11. 全国大会出場資格  
本大会において、次に該当するものは第57回全国大会の出場権を得るものとする。
  - (1) 陸上競技及び水泳における各種目別上位男子3位、女子2位までの入賞者。  
ただし、リレーは上位入賞2チームとする。
  - (2) 陸上競技のこの大会における男子3位、女子2位までの入賞者は、全国高等専門学校体育大会への出場権を得ることになる。男子リレー種目は、2位までの入賞チーム、有効期間内における公認記録の全国上位8チームとする。男子は1人2種目以内（リレー種目は除く）、開催校（又は開催地区）出場枠は各種目1名（1チーム）とする。女子は（3）の種目を除き2種目以内とする。
  - (3) 下記の種目は標準記録を設け下記のような選出方法を行う。
    - ・男子 400mH：59秒00、3000mSC：10分30秒00、棒高跳：3m50
    - ・女子 200m：28秒60、3000m：12分00秒00、100mH：17秒90、4×100mR：56秒00、走高跳：1m40、円盤投：23m00、やり投：25m00
    - ・男子 400mH は有効期間内の公認記録上位24名以内、3000mSCと棒高跳は16名以内とする。
    - ・女子 200m、3000m、100mH、走高跳、円盤投及びやり投は有効期間内の公認記録上位16名以内とする。
  - (4) 陸上競技における公認記録の有効期間について、男子リレー種目は令和4年4月1日から令和4年7月18日までとし、これ以外の種目については令和3年4月1日から令和4年7月18日までとする。
  - (5) バスケットボール（男）、バスケットボール（女）、バレーボール（女）、ソフトテニス、卓球（女）、剣道（女）、硬式野球については、それぞれの優勝チームのみとする。
  - (6) バレーボール（男）、卓球（男）、柔道、剣道（男）、サッカー、ハンドボール、ラグビーフットボール、テニス、バドミントン（男）、バドミントン（女）については、上位入賞2チームとする。ただし、ラグビー部合同チームの参加について、全国大会への出場権は認めない。



- (7) ソフトテニスにおける個人戦は、上位入賞者男子ダブルス3組、女子ダブルス2組とする。
- (8) 卓球における個人戦は、上位入賞者男子シングルス2名、女子シングルス上位2名以内、男子ダブルス2組、女子ダブルス2組以内とする。
- (9) 柔道における個人戦は、級別上位入賞者男子2名、女子3名以内とする。
- (10) 剣道における個人戦は、上位入賞者男子4名以内、女子3名以内とする。
- (11) テニスにおける個人戦は、上位入賞者男子シングルス2名、女子シングルス2名、男子ダブルス2組、女子ダブルス2組とする。
- (12) バドミントンにおける個人戦は、上位入賞者男子シングルス2名、女子シングルス2名、男子ダブルス2組、女子ダブルス2組とする。
- (13) 開催校枠を保持している全国開催校のチーム・選手が上記規程の順位内に入った場合、バスケットボール（女）、バレーボール（女）、バドミントン（女団体戦）を除いた競技については、上記規定の順位の1つ下の順位に入ったチーム・選手（複数該当する場合はその中から代表決定戦により選出されたチーム・選手）も、全国大会への出場権を得るものとする。
- (14) 地区代表として1名も選抜されなかった学校は、その学校の最も優れた選手を開催種目の個人競技種目（リレー種目を除く。）のいずれか1種目に、1名又は、1組を出場させることができる。

## 12. その他

- (1) 担当校は、大会の運営について競技上の事故防止等に十分配慮すること。
- (2) 担当校は、気象警報発令時及び災害発生時においては、競技参加者及び大会関係者の安全を第一として競技実施の有無その他対応について判断し、決定した内容について速やかに参加校ほか関係機関に連絡することとする。各参加校においても、学校内の連絡先を点検し、連絡体制を確立しておくこととする。
- (3) 競技中の負傷については、各担当会場校で応急処置を施すが、その後の処置は参加校で行うものとする。
- (4) 選手は、健康保険証を必ず持参すること。
- (5) 高専学生として品位と節度のある応援を行うこと。
- (6) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各競技で定める「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守すること。  
なお、各競技団体におけるガイドラインの更新や各地域の感染状況を踏まえ、ガイドラインを修正する場合がある。  
最新のガイドラインは、各競技担当校から参加高専に通知するものとする。

## 参 加 校

学 校 名	住 所 ・ 電 話 番 号
久留米工業高等専門学校	久留米市小森野1-1-1 TEL 0942-35-9317
有明工業高等専門学校	大牟田市東萩尾町150 TEL 0944-53-8861
北九州工業高等専門学校	北九州市小倉南区志井5丁目20-1 TEL 093-964-7233
佐世保工業高等専門学校	佐世保市沖新町1-1 TEL 0956-34-8420
熊本高等専門学校（熊本キャンパス）	合志市須屋2659-2 TEL 096-242-6229
熊本高等専門学校（八代キャンパス）	八代市平山新町2627 TEL 0965-53-1233
大分工業高等専門学校	大分市大字牧1666 TEL 097-552-6365
都城工業高等専門学校	都城市吉尾町473-1 TEL 0986-47-1135
鹿児島工業高等専門学校	霧島市隼人町真孝1460-1 TEL 0995-42-9015
沖縄工業高等専門学校	名護市字辺野古905 TEL 0980-55-4032

# 大会参加者数

(担当校) 鹿児島工業高等専門学校

学 校 名	教職員	監督	コーチ	マネージャー	選手	その他	計
久留米工業高等専門学校	0 (0)	4 (0)	4 (0)	8 (8)	55 (14)	5 (0)	76 (22)
有明工業高等専門学校	0 (0)	4 (0)	4 (0)	8 (8)	66 (18)	4 (0)	86 (26)
北九州工業高等専門学校	0 (0)	5 (0)	3 (0)	4 (4)	64 (16)	5 (0)	81 (20)
佐世保工業高等専門学校	1 (0)	4 (0)	3 (1)	4 (4)	62 (16)	8 (3)	82 (24)
熊本高等専門学校 (熊本キャンパス)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	6 (5)	29 (2)	10 (0)	48 (7)
熊本高等専門学校 (八代キャンパス)	1 (0)	5 (1)	2 (0)	5 (3)	51 (9)	9 (0)	73 (13)
大分工業高等専門学校	1 (0)	5 (0)	5 (0)	7 (5)	73 (18)	4 (0)	95 (23)
都城工業高等専門学校	2 (0)	5 (0)	4 (0)	9 (9)	56 (14)	12 (2)	88 (25)
鹿児島工業高等専門学校	37 (6)	4 (0)	4 (0)	11 (11)	53 (0)	76 (0)	185 (17)
沖縄工業高等専門学校	1 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (3)	30 (0)	0 (0)	39 (3)
計	44 (6)	41 (1)	31 (1)	65 (61)	539 (107)	133 (5)	853 (180)

(注) 女子は内数として ( ) 内に記入

# サッカー競技実施要項

1. 主 催 鹿児島工業高等専門学校  
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
2. 主 管 九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟サッカー競技専門部
3. 後 援 始良市、始良市教育委員会  
(一社)九州サッカー協会、(一社)鹿児島県サッカー協会
4. 大会期日 令和4年7月15日(金)・16日(土)・17日(日)  
(予備日 7月18日(月))
5. 大会会場 ビーラインスポーツパーク始良陸上競技場・人工芝グラウンド
6. 参加資格
  - (1) (公財)日本サッカー協会に加盟登録(第一種)されている九州沖縄地区国立高等専門学校であり、その団体の一員として個人登録された学生とする。
  - (2) 外国人留学生及び編入学生のエントリー数は6名以内とする。そのうちで同時に試合に出場できるのは3名以内とする。
7. 競技規則
  - (1) (公財)日本サッカー協会サッカー競技規則(2021/22年度)並びに本大会実施要項による。
  - (2) 競技開始前に最大限9名までの交代要員の氏名を通告しておき、そのうちから5名まで交代することができる。ただし、延長戦に入ったときには、交代要員を使い切っている、いないにかかわらず、さらにもう1人の交代要員が使えるものとする。
  - (3) 退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。それ以後の処置については本大会の規律委員会で決定する。なお、本大会中、警告を2度受けた選手は、次の1試合に出場できない。
8. 競技方法
  - (1) 9又は10校によるトーナメント方式とする。
  - (2) 試合時間は80分(ハーフタイムは10分)とし、勝敗が決しないときは20分延長を行う。それでもなお決しないときは、PK方式により勝敗を決定する。ただし、決勝戦の試合時間は70分とする。
  - (3) 3位決定戦は実施せず、両校ともに3位とする。ただし、全国高専大会を九州沖縄地区が担当し出場校が3校になる場合は、同大会開催校の成績に関わらず3位決定戦を実施する。その場合、競技方法は決勝戦に準じるものとする。
  - (4) 令和3年度に実施した九州高専体育大会(サッカー競技)代替大会の優勝校を第1シード、準優勝校を第2シード、九州高等専門学校(U-19)サッカー大会の優勝校を第3シードとする。ただし、上位シードと重複する場合は、U-19大会の成績を繰り上げることとする。
9. チーム人員  
参加申込書に記載するチーム人員は、引率者1名、監督1名、主務1名、記録員1名、選手20名を限度とする。ただし、試合前に提出するメンバー表に、チーム役員(引率者、監督及び

主務を含む)として記入されている者は試合ベンチに入ることができる。その際チーム役員の上限は6名とする。

#### 10. 選手の用具

- (1) ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)は、正のほかに、副として正と異なる色のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、必ず携行すること。
- (2) 背番号は1番から20番までとし、参加申込書に登録された選手固有の番号を付けること。正・副のユニフォーム同様とする。また、背番号は見やすいものとする。
- (3) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別し難いと判断した時は、両チーム立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (4) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

#### 11. 表彰

- (1) 優勝以下3位までの入賞校には、賞状を授与する。
- (2) 優勝チームには、優勝杯を授与し、次回まで保持させる。
- (3) 優秀選手には、賞状を授与する。

#### 12. その他

- (1) 登録選手の変更は、所定の用紙(選手登録変更届用紙)に記入し、監督者会議に提出すること。それ以後の変更は認めない。なお、背番号の変更は認めない。
- (2) 選手の競技中の負傷については、開催校が応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。
- (3) 本大会の登録選手は、(公財)日本サッカー協会選手証と健康保険証及び独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を持参すること。試合前のメンバー表提出のとき、出場選手全員の「選手証」を一緒に提出すること。なお、「選手証」とは、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものである。
- (4) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。
- (5) 別紙「第59回(令和4年度)九州沖縄地区高専体育大会サッカー競技における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守すること。  
また、大会会場の新型コロナウイルス感染拡大防止対策方針に従い、感染拡大防止に最善を尽くすこと。

第59回（令和4年度）九州沖縄地区高専体育大会サッカー競技における  
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1. <会場、更衣室、休憩・待機スペース等>

換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う必要がある。具体的には、換気設備を適切に運転することや、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う。

更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。更衣室や、休憩スペース、待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備すること。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

2. <手洗い場所の確保>

- ① 会場では手洗いをこまめに行えるようにする。
- ② 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ③ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ④ できるだけ手洗い場を確保する。
- ⑤ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルの持参を徹底する。  
※布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。
- ⑥ アルコール等の手指消毒剤を用意する。

3. <洗面所（トイレ）>

洗面所（トイレ）についても感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。利用する洗面所（トイレ）について、以下に配慮して管理すること。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ③ 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ④ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ⑤ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルの持参を徹底すること。  
※布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。

4. <ベンチ関係について>

- ① ベンチで間隔を空けて座れるよう椅子を設置し、ベンチに留まる場合は必ずマスクを着用する。
- ② 一日に同会場で複数試合を行う場合は、各チームで試合終了毎にベンチの消毒を行うよう周知徹底する。消毒の際は、必ずビニール手袋を装着させること。
- ③ 消毒液、ペーパータオル、ビニール手袋、ゴミ処理用の袋は運営本部が準備するが、使用後のゴミは各チームが持ち帰ること。

## 5. <観客の管理>

観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとることを求める。また、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する。

各チームは大会開催会場が指定する施設利用者名簿をとりまとめ、主催校へ提出する。なお、施設利用者名簿には応援者を含めた全ての入場予定者を記入するものとする。

## 6. <各チームの選手・スタッフ等の健康管理>

### (1) 事前対応（九州高専連盟の様式を活用）

各チームが健康チェックシートによる体調チェックを実施し、当日参加者全員の名簿を付した健康チェックまとめを運営本部に提出する。

参加者の名簿、当日の検温、症状チェックを必ず実施すること

① 氏名・体温・症状チェック

② 大会前2週間における以下の事項の有無についても確認する。

- 平熱を超える発熱
- 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
- だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- 臭覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

### (2) 事後対応

会場責任者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、競技会当日に参加選手・スタッフから提出された検温確認表を、保存期（少なくとも1ヶ月）を明記した上で保存しておく。

競技会終了後3日以内に、各チームの感染対策責任者に連絡を取り、具合の悪い選手・スタッフがいらないか確認する。

## 7. <その他各会場、各チームで配慮すること>

### (1) 飲食物の提供時

運動・スポーツの際の栄養補給等として飲食物を参加者に提供する際は、以下に配慮して行うことを原則求める。

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。
- スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供する。（同じペットボトル等を複数人で利用しない。）
- 果物等の食品については、同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなど、工夫を行う。
- 飲食物を取り扱うスタッフに必ずマスクと手袋を着用させる。

### (2) ゴミ等の廃棄

鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。

### (3) 移動・宿泊

- 宿泊は原則一人一部屋とし、各チームが感染防止策を整備し、遵守する。
- 貸切バス等での移動は、過密乗車にならないよう運行方法を工夫する。

### (4) 審判関係について

審判関係については以下の準備を行うこと。

- 控え室を利用する場合は広さにはゆとりを持たせ、審判員同士が密になることを避ける。換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を開けっ放しにして常時換気を行う。
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、別室を用意する、又は外部にテントを設置する措置を講じる。滞在時間を短くするため着替えに限定する。
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については消毒する。
- 審判員はシャワーを交代で使用し、密集を避ける。
- 審判員同士のミーティングは会場で3密とならないスペース等を探して実施する。

## 8. <応援について>

競技会に応援者を入れる場合には、応援エリアにおいて3つの密を避ける対応が求められる。

- 大声での声援や大旗を使つての応援は行わない。
- 場内ではそれぞれ2mの間隔を保ち、ハイタッチ、抱擁、肩を組むなどの行為は控える。

## 9. <チームへの伝達事項>

会場責任者はMCM（実施する場合）に出席し、運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目を参加チームに伝えること。

- 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- 両チームベンチへの挨拶は距離をとっておこなうこと。
- 円陣はしない。
- 倒れた選手に手を貸さない。
- 得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。
- ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。
- 口に含んだ水を吐かない。
- ボトルを共有しない。
- クーラーボックス等を利用する場合は、手袋やマスクを着用して利用する。タオルを共有しない。
- ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。
- ベンチではマスクを着用し、会話を控える

※上述の伝達事項は、参加チームが競技会参加にあたり留意すべき事項でもある。

## 10. <メディア対応における注意事項>

### (1) 試合会場のメディア設営

競技者とメディアの不要な接触を避けるためのメディア動線を作成し、以下に留意して設営を行う。

- 記者室や記者席、記者会見場では、各記者が前後左右1.5m～2m間隔で座ることができるよう、座席を配置する。



- 記者室、記者会見場の入口にアルコール消毒液を設置し、全てのドア及び窓を開けっ放しにする。
- 取材中、選手取材者が2 mの距離を保つ。

(2) 当日のメディア運営

(ア) 以下の事項に該当する場合は入場を見合わせる

- 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

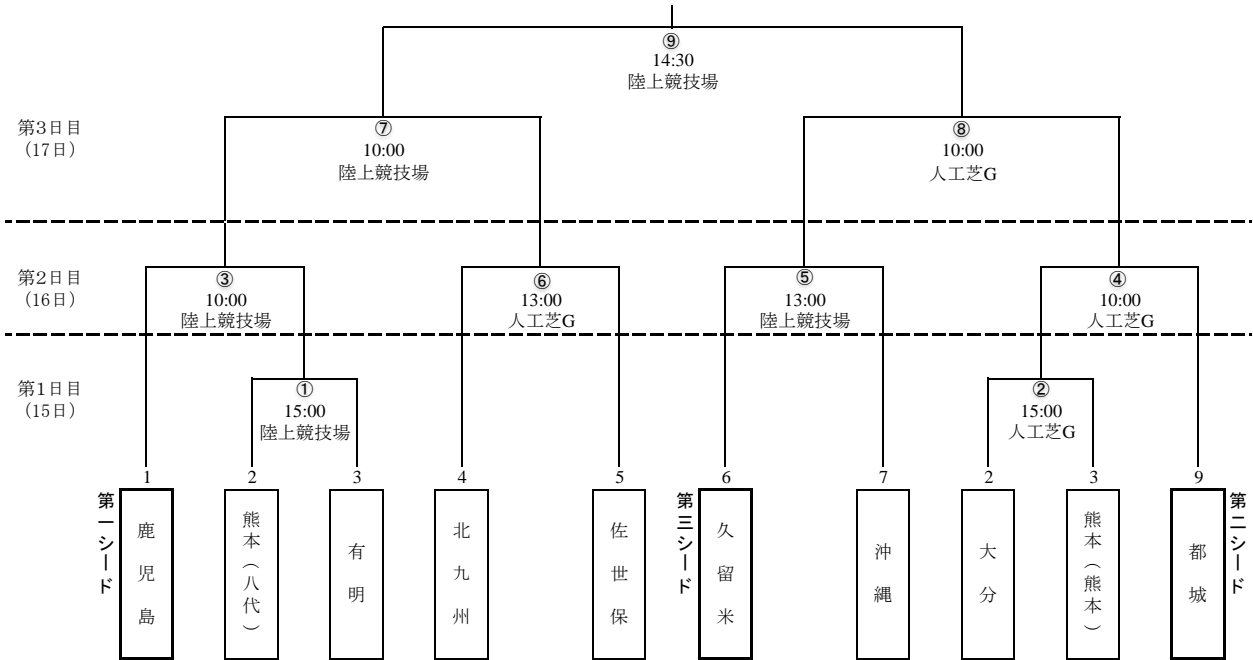
(イ) 以下の事項を当日遵守するように本部で伝える

- 試合会場の入り口又は本部で名前、連絡先を記入してもらいその場で検温をする
- 試合会場の設備に合わせて、3つの密にならないようにする
- 常時マスクを着用し、不必要な会話を控える。
- 代表質問を行うなど、取材者の人数も必要最小限となるように調整する。代表質問を行うなど、取材者の人数も必要最小限となるように調整する。
- 選手との距離は2 m以上取り、取材者同士も、最低1 m間隔を保つ。
- できるだけ短い時間で取材を終える。

以 上

組合せ及び試合開始予定時間

サッカー 組合せ表



ユニフォーム一覧表

学校		FPシャツ	FPショーツ	FPソックス	GKシャツ	GKショーツ	GKソックス
久留米	正	青	青	青	赤	赤	赤
	副	黄	黒	黒	緑	緑	緑
有明	正	エンジ	エンジ	エンジ	黄	黄	黄
	副	水	水	水	灰	灰	灰
北九州	正	白	白	白	緑	緑	黄
	副	赤	赤	赤	橙	橙	橙
佐世保	正	青	青	青	緑	緑	緑
	副	赤	赤	赤	灰	灰	灰
熊本(熊本)	正	橙	橙	橙	緑	緑	緑
	副	水	紺	紺	桃	桃	桃
熊本(八代)	正	青	青	青	赤	赤	赤
	副	白	白	白	黄	黄	黄
大分	正	黄	青	青	橙	橙	橙
	副	緑	白	緑	灰	灰	灰
都城	正	青	白	青	黄	黄	黄
	副	エンジ	エンジ	エンジ	緑	緑	緑
鹿児島	正	赤	赤	赤	黄	黄	黄
	副	白	白	白	水	水	水
沖縄	正	青	青	青	緑	緑	緑
	副	赤	赤	赤	灰	灰	灰

# 競 技 役 員

審 判 長	審 判 員
浜田 章治	一般社団法人 九州サッカー協会 審判委員長

# 出 場 選 手 名

学 校	監 督	コ ー チ	マネージャー	記 録 員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
					背番号	位置	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
久留米高専	学 年		5	4	3	4	3	4	3	2	4	4	4	4	4	1	1	4	2	2	2	1	2	2
	背番号				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位 置				GK	DF	DF	DF	MF	MF	MF	MF	FW	FW	FW	DF	MF	MF	MF	FW	GK	FW	MF	DF
	氏 名	福嶋 洋	石井 努	江頭 美空	中村 光騎	庄島 大翔	守安 颯	橋本 晃太郎	田中 優希	古閑 朝斗	財津 尚生	鶴森 静空	梶原 徳真	田中 健翔	松田 弦己	高橋 京助	中野 恭佑	松岡 立己	久恒 康太	清水 悠策	富田 拓真	篠塚 雅矢	梅野 凌太郎	坂井 徠紳
有明高専	学 年		5	5	4	5	4	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	2	4	4	4
	背番号				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位 置				GK	DF	DF	DF	DF	MF	MF	MF	MF	FW	FW	DF	MF	DF	DF	MF	GK	FW	MF	DF
	氏 名	近藤 満	谷口 光男	木村 沙来	稲益 未羽	新開 斗偉	吉尾 亮太郎	山本 雅登	平須賀 勇徒	成井 康貴	中尾 敦鷹	川島 悠太郎	田中 良幸	生地 快正	中村 琢人	木塚 力輝	星子 元	山口 裕斗	小椋 天清	山口 聖二	樋口 敦士	大藪 柊太	佐菅 大悟	中村 碧心
北九州高専	学 年		4	5	5	3	3	4	4	4	5	4	5	5	4	4	3	5	3	4	3	3	3	3
	背番号				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位 置				GK	DF	DF	DF	DF	MF	MF	MF	FW	MF	FW	DF	DF	DF	MF	GK	MF	FW	MF	DF
	氏 名	北園 優希	安達 忠志	松本 心	小野 伊織	植木 海翔	尾関 春陽	木下 桂尚	内田 陸斗	石島 匠	星野 克己	田岡 昂太	増本 仁	宮村 歆弥	川端 悠聖	黒木 健太郎	伊澤 敬太	栗明 凌央	末永 恋太郎	原田 翔太	井本 健成	山本 凌也	柳 颯太	三島 優斗
佐世保高専	学 年		2	3	4	4	2	2	3	5	5	5	5	5	4	3	3	4	3	2	2	2	2	3
	背番号				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位 置				GK	DF	DF	DF	DF	MF	FW	MF	MF	FW	FW	MF	MF	MF	MF	GK	FW	DF	MF	DF
	氏 名	松山 史憲	佐竹 卓彦	酒井 杏梨	山中廉太郎	江島 光一	徳永 周太	田畑 陽向	吉川 生晃	白石 脩馬	手光 駿介	笠松 宗真	松尾 壮駿	大宅 清正	渡邊 工祐	瀧野 信	小池 良磨	吉里 璃久	砂場 大空	藤永 北斗	海田 健太	大宅 時正	山口 亮太	江島 有一
熊本高専(熊本)	学 年		5	2	5	5	5	5	5	4	5	2	5	5	5	5	3	5	3	5	3	3	2	2
	背番号				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位 置				GK	DF	DF	MF	DF	MF	MF	MF	FW	MF	FW	DF	DF	DF	DF	DF	MF	MF	MF	FW
	氏 名	野田 秋夫	東 夏菜	山下 茜菜	中原 大葉	本田 純也	本田 凌雲	菊本 翔太	渡邊 健太郎	岩本 侑土	中ノ瀬 彩	大山 翔生	浦上 真聡	山下 隼輝	渡邊 竜馬	河原 凜成	荒木 雄真	坂崎 菊之介	木村 謙伸	吉永 優輝	山田 幸士	東山 和暉	前村 謙介	田部 雄暉

学 校		監督	コーチ	マネージャー	記録員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
熊本高専(八代)	学年			2	2	2	4	3	4	3	3	3	4	4	5	4	2	4	2	2	1	4	1	1	1
	背番号					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位置					GK	MF	DF	DF	DF	MF	MF	MF	FW	DF	MF	FW	MF	FW	DF	MF	MF/GK	DF	DF	MF
	氏名	宇ノ木 寛文	村山 浩一	橋本 唯名	末松 凜花	佐川 大心	古川 晴喜	大田 遼	橋本 光世	木村 和真	鬼塚 晏利	福田 恵二郎	中村 唯人	小松 舜	平井 愛斗	増田 晃大	尾上 翔稀	児玉 幸成	田中 丈裕	森重 拓海	村上 巧磨	坂口 慧飛	野田 樹	芹川 直輝	浦上 凱吏
大分高専	学年			4	3	3	3	4	4	2	3	3	2	4	4	2	5	5	4	4	3	3	3	2	3
	背番号					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位置					GK	DF	DF	DF	DF	MF	FW	FW	FW	ME	MF	FW	FW	MF	MF	DF	FW	MF	MF	DF
	氏名	石川 誠司	佐藤 希生	塩月 さくら	山元 滉正	森永 和彦	永田 拓海	山之上 颯人	谷口 陽人	由川 凜太郎	松野 拓己	福島 直矢	久保 翔太朗	加藤 碧空	財満 喬太郎	翁長 良牙	佐藤 快	安部 太貴	篠田 悠月	甲斐 純一郎	中島 拓郎	野中 翔学	渡邊 雄敏	大海 應介	渡邊 泰稀
都城高専	学年			5	4	4	5	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	2
	背番号					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位置					GK	DF	DF	DF	DF	MF	MF	MF	FW	MF	FW	DF	DF	FW	MF	MF	GK	MF	DF	MF
	氏名	瀬川 裕二	杉本 弘文	今村 空美	鎌田 梨那	真田 征侍	栞山 佳生	猿渡 速飛	岩切 大昌	歳川 蓮	若松 佑朋	西脇 涼乃	利光 陽介	片平 力渡	福岡 千祐	花畑 空大	綿内 大成	川原 匡悟	溜池 琉人	下醉尾 淳矢	赤峰 羽翼	川野 佑	杉村 夢斗	中尾 圭汰	西脇 颯汰
鹿児島高専	学年			3	3	4	4	5	5	5	5	4	4	5	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3
	背番号					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位置					GK	DF	DF	DF	MF	MF	MF	MF	FW	FW	FW	MF	DF	MF	FW	GK	DF	MF	FW	MF
	氏名	北薮 裕一	竹下 淳哉	芦谷原 愛	日置 大智	田崎 慶司	東 優磨	田中 翔也	川畑 秀斗	隈元 駿佑	福島 幸大	楠元 康生	中島 汰一	下新原 涉	細川 爽楽	佐保 慎一	梶 陸真	吉田 敦貴	東瀬戸 陽斗	紙屋 琉	上野 仁大	宮脇 仁崇	藤原 嶺哉	甲斐 翔大	松本 武
沖縄高専	学年		5	2	5	4	3	3	5	5	3	3	4	3	5	3	3	3	5	3	5	2	3	4	4
	背番号					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	位置					GK	DF	DF	DF	DF	DF	MF	MF	FW	FW	FW	FW	DF	DF	MF	MF	GK	FW	MF	DF
	氏名	亀濱 博紀	座喜味 楓汰	迫田 奈那	真喜屋 琉	又吉 海来	渡久山 幹仁	上間 飛夢	佐渡山 颯太	儀間 勇士	和仁屋 心輝	赤嶺 壮磨	山城 佑斗	石川 修士	山内 弘竜	新城 楓澄	吉見 成	金城 謙汰	永田 悠人	伊禮 綾真	金山 京平	与那覇 怜遠	上地 健之輔	満田 陽	国頭 知真

# ● 鹿 児 島 会 場

## 1 監督会議日時及び会場

種 目	日 時	会 場
サ ッ カ ー	7月15日(金) 12:00	ビーラインスポーツパーク始良 体育館会議室
柔 道	7月 1日(金) 16:00	国分武道館 会議室
バレーボール(男子・女子)	7月15日(金) 16:10	牧園アリーナ 会議室
テ ニ ス	7月11日(月) 9:30	熊本県民総合運動公園パークドーム熊本会議室

## 2 開会式日時及び会場

種 目	日 時	会 場
サ ッ カ ー	7月15日(金) 13:30	ビーラインスポーツパーク始良 陸上競技場
柔 道	7月 2日(土) 9:30	国分武道館
バレーボール(男子・女子)	実施しない	
テ ニ ス	7月11日(月) 10:10	熊本県民総合運動公園パークドーム熊本

## 3 緊急病院

種 目	病 院 名	住所・電話番号
サ ッ カ ー	青雲会病院	〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田 3011 番地 電話 0995-66-3080
柔 道	国分生協病院	〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央 3 丁目 38-14 電話 0995-45-4806
バレーボール(男子・女子)	霧島市立医師会 医療センター	〒899-5112 鹿児島県霧島市隼人町松永 3320 番地 電話 0995-42-1171
テ ニ ス	熊本赤十字病院	〒861-8520 熊本市東区長嶺南 2 丁目 1 番 1 号 電話 096-384-2111

## 九州沖縄地区体育大会優勝校一覧

競技種目（ サッカー ）

大会	年度	優勝校	大会	年度	優勝校
第1回	昭和39年度	-	第27回	平成2年度	鹿児島
第2回	昭和40年度	-	第28回	平成3年度	鹿児島
第3回	昭和41年度	-	第29回	平成4年度	鹿児島
第4回	昭和42年度	鹿児島	第30回	平成5年度	鹿児島
第5回	昭和43年度	鹿児島	第31回	平成6年度	鹿児島
第6回	昭和44年度	都城	第32回	平成7年度	鹿児島
第7回	昭和45年度	大分	第33回	平成8年度	鹿児島
第8回	昭和46年度	北九州	第34回	平成9年度	鹿児島
第9回	昭和47年度	佐世保	第35回	平成10年度	北九州
第10回	昭和48年度	鹿児島	第36回	平成11年度	鹿児島
第11回	昭和49年度	北九州	第37回	平成12年度	鹿児島
第12回	昭和50年度	久留米	第38回	平成13年度	鹿児島
		大分	第39回	平成14年度	鹿児島
第13回	昭和51年度	久留米	第40回	平成15年度	鹿児島
		鹿児島	第41回	平成16年度	鹿児島
第14回	昭和52年度	佐世保	第42回	平成17年度	鹿児島
		鹿児島	第43回	平成18年度	鹿児島
第15回	昭和53年度	北九州	第44回	平成19年度	鹿児島
		鹿児島	第45回	平成20年度	鹿児島
第16回	昭和54年度	佐世保	第46回	平成21年度	鹿児島
		鹿児島	第47回	平成22年度	大分
第17回	昭和55年度	鹿児島			
第18回	昭和56年度	鹿児島	第48回	平成23年度	鹿児島
第19回	昭和57年度	鹿児島	第49回	平成24年度	鹿児島
第20回	昭和58年度	鹿児島	第50回	平成25年度	鹿児島
第21回	昭和59年度	鹿児島	第51回	平成26年度	鹿児島
第22回	昭和60年度	鹿児島	第52回	平成27年度	鹿児島
第23回	昭和61年度	鹿児島	第53回	平成28年度	鹿児島
第24回	昭和62年度	佐世保	第54回	平成29年度	鹿児島
第25回	昭和63年度	大分	第55回	平成30年度	鹿児島
第26回	平成元年度	鹿児島	第56回	令和元年度	鹿児島



**molten**<sup>®</sup>  
*For the real game*



# *For the real game*

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに  
ボールとスポーツエキップメント・メーカーとして  
常に完璧な製品づくりを目指しています。



[www.molten.co.jp](http://www.molten.co.jp)